



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 東京センチュリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8439 URL <https://www.tokyocentury.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 馬場 高一 (TEL) 03(5209)6710
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	549,755	7.0	40,421	6.8	46,392	9.9	27,014	7.8
2019年3月期第2四半期	513,639	6.1	37,859	2.7	42,215	11.0	25,062	10.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 22,921百万円(△10.6%) 2019年3月期第2四半期 25,640百万円(3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	255.73	254.70
2019年3月期第2四半期	237.30	236.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,155,389	538,667	10.5
2019年3月期	4,086,513	524,372	10.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 438,018百万円 2019年3月期 426,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	61.00	—	63.00	124.00
2020年3月期	—	67.00			
2020年3月期(予想)			—	67.00	134.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100,000	3.0	79,300	2.0	89,000	3.1	54,000	3.3	511.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、上記予想には米国の航空機リース会社Aviation Capital Group LLCの完全子会社化による影響額は含んでおりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	106,624,620株	2019年3月期	106,624,620株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	984,674株	2019年3月期	1,008,592株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	105,637,873株	2019年3月期2Q	105,614,263株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

- ・四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しており、また、当社ホームページにも掲載しておりますので、あわせてご参照ください。

なお、2019年11月6日(水)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) 営業取引の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比361億16百万円(7.0%)増加し5,497億55百万円、売上総利益は前年同期比72億8百万円(8.2%)増加し954億32百万円となりました。主な要因は、前年7月に連結子会社化した神鋼不動産株式会社(以下「神鋼不動産」)の業績が通期で反映されたこと、営業投資有価証券の配当収入の増加など国際事業が堅調に推移したこと等であります。

販売費及び一般管理費は、前年同期比46億47百万円(9.2%)増加し550億11百万円となりました。主な要因は、神鋼不動産の業績が通期で反映されたことや国内オート事業グループ各社の業容拡大に伴うものであります。

営業外損益は前年同期比16億15百万円(37.1%)増加し59億71百万円の利益となりました。主な要因は、航空機関連事業を中心に持分法投資利益が増加したこと及び為替関連の損益が好転したこと等であります。

これらにより、経常利益は前年同期比41億77百万円(9.9%)増加し463億92百万円となりました。

また、法人税等は前年同期比12億69百万円(9.6%)増加し144億51百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益は同7億24百万円(18.5%)増加し46億38百万円となりました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19億52百万円(7.8%)増加し270億14百万円となりました。

(セグメント別業績の概況)

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「賃貸・割賦事業」、「ファイナンス事業」及び「その他の事業」から、「国内リース事業」、「国内オート事業」、「スペシャルティ事業」及び「国際事業」に変更し、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更しております。

また、資産についても、従来の営業資産に各セグメントに帰属する持分法適用関連会社への投資額等を加えたセグメント資産に変更しております。

なお、以下の前期比較については、前期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

① 国内リース事業

売上高は前年同期比114億73百万円(4.4%)減少し2,495億44百万円、セグメント利益は同2億94百万円(2.1%)増加し142億22百万円となりました。主な増益要因は、国内グループ各社の業績拡大等であります。セグメント資産残高は前期末比317億39百万円(2.3%)増加し1兆4,045億73百万円となりました。

② 国内オート事業

売上高は前年同期比120億20百万円(7.6%)増加し1,693億29百万円、セグメント利益は同8億10百万円(9.6%)増加し92億49百万円となりました。主な増益要因は、国内オート事業グループ各社の業容拡大に伴うものであります。セグメント資産残高は前期末比310億円(5.2%)増加し6,236億70百万円となりました。

③ スペシャルティ事業

売上高は前年同期比281億80百万円(51.4%)増加し830億47百万円、セグメント利益は同19億22百万円(9.7%)増加し216億85百万円となりました。主な増益要因は、前年同期に計上した航空機関連の手数料収益の反動があったものの持分法投資利益拡大を主因に航空機事業全体では増益となったこと、神鋼不動産の業績が通期で反映されたこと及び太陽光発電事業による売電収益の増加等であります。セグメント資産残高は前期末比334億48百万円(2.9%)減少し1兆1,089億50百万円となりました。

④ 国際事業

売上高は前年同期比72億75百万円(18.1%)増加し474億3百万円、セグメント利益は同15億10百万円(37.9%)増加し55億2百万円となりました。主な増益要因は、営業投資有価証券の配当収入増加等であります。セグメント資産残高は前期末比38億5百万円(0.7%)減少し5,091億2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比688億75百万円(1.7%)増加し4兆1,553億89百万円となりました。負債合計は、前期末比545億80百万円(1.5%)増加し3兆6,167億22百万円となりました。有利子負債は、前期末比815億65百万円(2.7%)増加し3兆1,228億円となりました。

純資産合計は、前期末比142億95百万円(2.7%)増加し5,386億67百万円となりました。主な要因は、為替の影響により為替換算調整勘定が77億99百万円減少したものの、利益剰余金が203億60百万円増加したこと等あります。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント上昇し10.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、米国の航空機リース会社Aviation Capital Group LLCの完全子会社化による影響については現在精査中であり、現時点では合理的な算定・予想が困難であると判断したことから、当該子会社化による影響額は含めておりません。今後、発表が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	99,058	113,988
割賦債権	195,761	188,486
リース債権及びリース投資資産	1,565,671	1,579,346
営業貸付債権	549,980	525,439
営業投資有価証券	295,970	298,092
賃貸料等未収入金	34,598	33,945
有価証券	620	490
たな卸資産	10,667	8,461
その他の流動資産	92,175	134,029
貸倒引当金	△3,377	△3,154
流動資産合計	2,841,127	2,879,125
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	773,055	772,726
賃貸資産前渡金	15,985	24,735
その他の営業資産	89,406	88,266
建設仮勘定	55,372	62,550
社用資産	18,742	19,047
有形固定資産合計	952,562	967,328
無形固定資産		
賃貸資産	1,216	2,889
のれん	32,711	31,382
その他の無形固定資産	12,186	13,737
無形固定資産合計	46,115	48,008
投資その他の資産		
投資有価証券	183,219	193,022
破産更生債権等	1,348	1,311
繰延税金資産	12,729	13,981
その他の投資	50,050	52,975
貸倒引当金	△1,144	△1,160
投資その他の資産合計	246,205	260,129
固定資産合計	1,244,883	1,275,466
繰延資産	503	797
資産合計	4,086,513	4,155,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,215	216,204
短期借入金	486,653	336,050
1年内償還予定の社債	101,935	89,656
1年内返済予定の長期借入金	413,061	554,088
コマーシャル・ペーパー	872,300	839,600
債権流動化に伴う支払債務	75,900	86,501
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	908	859
未払法人税等	11,004	11,126
割賦未実現利益	15,882	15,434
賞与引当金	3,569	4,225
役員賞与引当金	318	151
その他の引当金	631	631
その他の流動負債	86,309	85,972
流動負債合計	2,316,691	2,240,502
固定負債		
社債	197,497	188,510
長期借入金	891,113	1,026,101
債権流動化に伴う長期支払債務	1,862	1,432
繰延税金負債	30,548	33,514
役員退職慰労引当金	489	458
メンテナンス引当金	1,146	1,321
その他の引当金	—	244
退職給付に係る負債	11,032	11,221
その他の固定負債	111,758	113,414
固定負債合計	1,245,449	1,376,219
負債合計	3,562,141	3,616,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,231	34,231
資本剰余金	9,074	9,117
利益剰余金	379,150	399,510
自己株式	△2,612	△2,550
株主資本合計	419,843	440,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,647	14,883
繰延ヘッジ損益	△152	△792
為替換算調整勘定	△8,078	△15,877
退職給付に係る調整累計額	△605	△503
その他の包括利益累計額合計	6,812	△2,290
新株予約権	1,620	2,194
非支配株主持分	96,096	98,454
純資産合計	524,372	538,667
負債純資産合計	4,086,513	4,155,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	513,639	549,755
売上原価	425,415	454,323
売上総利益	88,224	95,432
販売費及び一般管理費	50,364	55,011
営業利益	37,859	40,421
営業外収益		
受取利息	96	116
受取配当金	537	519
持分法による投資利益	4,253	5,597
受取賃貸料	146	142
その他の営業外収益	268	226
営業外収益合計	5,302	6,602
営業外費用		
支払利息	229	389
為替差損	563	47
賃貸収入原価	76	83
その他の営業外費用	78	110
営業外費用合計	946	631
経常利益	42,215	46,392
特別利益		
投資有価証券売却益	55	848
その他	16	50
特別利益合計	72	899
特別損失		
投資有価証券評価損	7	959
その他	121	227
特別損失合計	128	1,187
税金等調整前四半期純利益	42,159	46,104
法人税等	13,182	14,451
四半期純利益	28,976	31,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,914	4,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,062	27,014

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	28,976	31,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,593	△750
繰延ヘッジ損益	1,829	△183
為替換算調整勘定	△5,951	△7,278
退職給付に係る調整額	184	111
持分法適用会社に対する持分相当額	△991	△631
その他の包括利益合計	△3,335	△8,731
四半期包括利益	25,640	22,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,939	17,911
非支配株主に係る四半期包括利益	3,701	5,009

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、2019年5月9日開催の当社取締役会で採択された、新たな中期経営計画である「第四次中期経営計画」において、現行の組織体制及び事業ポートフォリオの変化等を踏まえた経営管理手法の見直しを実施するため、報告セグメント等の変更を行うことといたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「賃貸・割賦事業」、「ファイナンス事業」及び「その他の事業」から、「国内リース事業」、「国内オート事業」、「スペシャルティ事業」及び「国際事業」に変更し、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更しております。

変更した報告セグメントの内容は以下のとおりです。

- (1) 国内リース事業…………… 情報通信機器、事務用機器、産業工作機械、輸送用機器、商業・サービス業用設備等を対象とした金融・サービス、事業性ビジネス等
- (2) 国内オート事業…………… 法人・個人向けのオートリース、レンタカー、カーシェア事業等
- (3) スペシャルティ事業……… 主として船舶、航空機、不動産、環境・エネルギーなどのプロダクツを対象とした、国内・海外における金融・サービス、事業性ビジネス、投資等
- (4) 国際事業…………… 東アジア・アセアン、北米・中南米を中心とした金融・サービス、オート事業等

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 リース	国内 オート	スペシャル ティ	国際	計				
売上高									
外部顧客に 対する売上高	261,017	157,309	54,867	40,128	513,322	316	513,639	—	513,639
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	308	506	117	14	947	90	1,037	△1,037	—
計	261,326	157,816	54,984	40,142	514,270	407	514,677	△1,037	513,639
セグメント利益	13,927	8,439	19,763	3,991	46,122	99	46,221	△4,006	42,215

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険代理店事業、事務受託事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 リース	国内 オート	スペシャル ティ	国際	計				
売上高									
外部顧客に 対する売上高	249,544	169,329	83,047	47,403	549,325	430	549,755	—	549,755
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	251	517	112	3	885	54	939	△939	—
計	249,795	169,847	83,160	47,407	550,210	484	550,695	△939	549,755
セグメント利益	14,222	9,249	21,685	5,502	50,660	183	50,843	△4,451	46,392

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険代理店事業、事務受託事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 営業取引の状況

セグメント資産残高(2019年9月30日)

(単位：百万円)

セグメントの名称		前連結会計年度		当第2四半期連結会計期間	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
報告セグメント	国内リース事業	1,372,833	37.8	1,404,573	38.4
	国内オート事業	592,670	16.3	623,670	17.1
	スペシャルティ事業	1,142,398	31.5	1,108,950	30.3
	国際事業	512,908	14.1	509,102	13.9
	報告セグメント計	3,620,811	99.7	3,646,296	99.7
その他		10,107	0.3	10,329	0.3
合計		3,630,919	100.0	3,656,626	100.0

(ご参考)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
営業保証額	46,222	53,041